

特定非営利活動法人
新潟国際ボランティアセンター

2023年度通常総会議案書

日時： 2023 年 5 月 27 日 (土) 13:00～14:00

会場 新潟市市民活動支援センターニコット研修室

(新潟県新潟市中央区西堀前通6番町894-1

西堀六番館ビル 3F)

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター
新潟市中央区営所通 2 番町 692-27 ビラプリンス 103
URL: <http://www.nvcjapan.org/>
E-mail: info@nvcjapan.org

2023年度 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
通常総会

－ 次 第 －

1 開会

2 議長・議事録署名人・書記の選出

3 総会成立の確認

4 議案審議

第1号議案 2022年度事業報告について

第2号議案 2022年度収支決算・監査報告について

第3号議案 2023年度事業計画について

第4号議案 2023年度活動予算について

第5号議案 役員について

5 閉会

14:00～14:15 2023 年度第 2 回運営委員会

14:30～16:00 これからの NVC はどのような活動方針でいくべきか。
～2023 年 2 月のベトナム渡航報告も兼ねて考える～

ご挨拶

ようやく世界がまた動き出しております！

新型コロナウイルスの影響を受けて、この3年間、担当運営委員が直接ベトナムに行き、現地調査ができないという状況が続いて参りました。ベトナム渡航ではありません。対面での活動はほとんど実施できず、我慢をし続ける、という苦しい状況でした。

身動きできない状況・社会が不安定になるといつも最も困難な事態になってしまうのが、弱い立場の人たちだということも改めて知らされた3年間でした。支援先であるキムチシェルターでは、食料と教育費が不足しがちになり、一時期は閉鎖するかもしれない、という連絡が来たときは、「シェルターにいるこどもたちはどうなってしまうのだろうか」と本当に心配しました。マダグイこどもセンターでも、2016年から支援を開始して軌道に乗ってきた線香と天然石ビーズの生産がストップし、職業訓練を兼ねた収入手段が無くなってしまい途方に暮れているという連絡が来ておりました。

NVC 自身もどうしてよいかわからない状況にも関わらず、支援先からは SOS が届く…本当に悩む日々が続きました。

しかし、皆様のおかげで、何とか乗り越えることができました。寄付キャンペーンでは多くの方々にご協力いただき、また多くの助成金も獲得することができて、こどもたちへのサポートを欠かさず行うことができました。

2023年2月には、代表の三上と副代表の小林が3年ぶりにベトナムに渡航し、支援先現場を直接確認することができました。こどもたちは、困難を乗り越えながら懸命に明るく生きており、その前向きな姿に心を打たれました。奨学生の皆さんたちとも、また対面でお会いすることができました。

NVC もまた前進し始めます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

NVC 代表 三上杏里



マダグイこどもセンターの様子。2月に渡航した際には、こどもたちは素敵な笑顔を見せてくれました。

第1号議案

2022年度事業報告

1 ラオス支援事業



(1) 事業の概要

ラオスにおいて農村部で生活し、豊かな自然に依拠した自給的な暮らしを営んでいる住民の方々に對し、森林、河川などの共有資源の保存・管理、それらを達成するための政策提言などを実施する事業。

※事業実施主体の日本国際ボランティアセンター (JVC) の事業に NVC が一部資金を提供している。

(2) 実施日または期間：通年

(3) 実施場所 ラオス人民民主共和国セコン県ラマーム郡およびタテン郡 10 村

(4) 担当者及び JVC スタッフの数 東京事務所 1 名、ラオス事務所は日本人 2 人名、ラオス人 9 名

(5) 受益対象者の範囲及び人数 受益者：約 1,600 世帯、およそ 9,500 人

(6) 支出額 100,000 円（当会からの協力金として）13,000 円（事業実施諸費） 計 113,000 円

2 ベトナム奨学金事業



(1) 事業の概要

本事業は、ホーチミン市の経済的に困窮する大学生に対して、入学から卒業までの 4 年間（専攻により 3 年間や 5 年間、6 年間の場合もあり）、奨学金を支給し、学業の継続を支援するものである。2022 年度の支給人数は 42 人で、内訳は表のとおり。

2023 年 2 月には、3 年ぶりの現地 NVC 奨学金授与式に参加することができた。しかし、会場にて学生とサポーターのミスマッチが判明したため、SAC 側へ修正を依頼することとなった。授与式に参加してくれたサポーターの皆さんの混乱を招いてしまった為、次年度は SAC へマッチングの誤りがないように、慎重に進めていただくよう強く依頼した。

(2) 実施日／期間：通年

(3) 実施場所：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数

NVC 担当者（2 人）：大澤容佳・山田裕史、現地スタッフ（1 人）：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 42 人（表のとおり）

(6) 支出額 1,973,077 円（事業実施諸経費を含む）

【表】 2022 年度の支援人数（実績）

6 年生	5 年生	4 年生	3 年生	2 年生	1 年生	合計
1 人	1 人	10 人	12 人	6 人	12 人	42 人



3 ベトナム孤児・障がい児支援事業

(1) 事業の概要

本事業はマダグイ子どもセンターで生活する青年や障がいを持つ子どもを支援し、施設の自立を助け、ベトナム社会への発展に寄与することを目的としている。

2022年度は公益信託 今井記念海外協力基金(100万円)の助成をうけ、子ども達への教育支援を行った。この事業は、子どもたちの教育にかかわる費用を支援することで、安定した教育環境を保ち、子どもたち一人一人の学力向上を目指した。2018年から実施してきた教育支援の継続事業。2021年に続き、コロナ禍の影響で慣れないオンライン授業の時期もあり厳しい環境であったが、子どもたち同士で助け合い勉強を進めることができた。

またコロナ禍の影響により、施設では子どもたちの成長に必要な食料を準備することができなくなっていたため、年間を通じて食糧支援を行った。4月~9月の前期は今井記念海外協力基金より拠出、10月~の後期はキャンペーンにより資金を募った。

また、2023年2月に三上代表、小林が現地を訪問した。2019年夏以来の3年半ぶりの訪問であった。実際にハウスマザーやスタッフと会い、子どもたちの現状把握と今後の話し合いを行うことができた。

(2) 実施日または期間

マダグイ子どもセンター：通年

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子供センター

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

マダグイ子どもセンター：約65名（約13名が障がい児）

(6) 支出額 1,530,952円（事業管理費含む）

4 ベトナム小学校支援事業

(1) 事業の概要



本プロジェクトはベトナムの貧しい地域で学ぶ子どもたちの教育環境を整え、ベトナムの未来を担う子どもたちを支援することを目的としている。2014年にキッ子くらぶ様と日本郵政グループ労働組合様の合同プロジェクトで、ベンチェ省ビンカンドン村小学校に新設の2教室を建設し、その後は継続して交流を行い、PC教室への支援を行ってきた。

しかし昨年、ビンカンドン村小学校は隣の学校と統合し、建物も取り壊しとなった。NVCが支援したPCは引き続き、新学校にて利用するとの報告を受けているが、現地とのコネクションが途絶えてしまったため、状況はわかっていない。

(2) 実施日または期間 未実施

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ビンカンドン村小学校

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数 250名

(6) 支出額 42,992円（事業管理費含む）

5 シェルター女兒支援事業



(1) 事業の概要

経済発展を続けるベトナムにおいて、開発から取り残された環境にあるキムチシェルターで生活する子どもたちが職業訓練をしながら生産する商品を購入し、新潟で販売することで、女兒たちの自立を応援し、女兒達と新潟にいる私たちがつながり、共に発展していくことを目指す事業。ミシン技術習得希望の女兒達が増えたことを受け、ミシン、縫製指導者の雇用費用などを支援し、女兒たちの縫製技術スキルアップのための支援を行った。

2022年度は、チュニックドレス、スカート制作の他、日本で非常に需要が高いマスクの生産を実施。マスクの他に、マスクカバーを生産してもらい、高品質で人気のある商品となった。

(公財)新潟県国際交流協会から、71万円の助成を受け、上半期は食糧支援も実施することができた。下半期は、市場から売れ残った野菜などを安く手に入れることができるようになり、食料調達がある程度自力でできるようになった。

(2) 実施日／期間：通年 食糧支援 4月から10月

(3) 実施場所

①ベトナム社会主義共和国ロンアン省キムチシェルター：

縫製教室：スカートやアオザイ風チュニック、マスク、ファブリックトレーの作成

食料支援：栄養補給用の食事の提供

②販売はインターネット通信販売サイトミンネ、BASE、イベント会場等

(4) 担当者およびスタッフの数 三上杏里、小林伸子

(5) 受益対象者の範囲及び人数 KimChi シェルター：シェルター利用女兒男児 180名 縫製教室は、その内25名前後

(6) 支出決算額 1,008,185円（事業管理費含む）

6 ベトナムスタディーツアー事業



(1) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状やNVCプロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVCの活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事でNVC活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2021年は、新型コロナウイルスの影響を受けて、オンラインツアーを検討していたが、ベトナム国内での収束がみられなかったので、中止となった。

(2) 支出額 40,490円（事業管理費含む）

7 チャリティバザー事業（愛のかけ橋バザー&フェスタ）



(1) 事業の概要

NVC愛のかけ橋バザー&フェスタは、各事業の資金を調達するだけでなく、新潟を基盤としたNVCの国際協力について、広く市民に知ってもらう機会となっている。34回目となった2022年度のバザーは「もう一度‘つながる’をつくるバザー」をコンセプトに、コロナ禍で希薄になってしまった人と人とのつながり、新潟と海外のつながりを再構築することを意識し、大変盛り上がるイベントとなった。

日用品や高級品、ベトナムグッズや天然石アクセサリ、ベトナム喫茶店「カフェフィン」のコーヒー販売に加え、バルーンアートや子どもわくわくコーナーを設置し例年通り多くの方に来場いただいた。

(2) 実施日または期間 2021 年 11 月 6 日 (日)

(3) 実施場所 ピア Bandai イベントスペース「ピアテラス」にぎわいマルシェ

(4) 担当者及びスタッフの数

担当者：港美結、木村昌貴、池端文、三上杏里 当日ボランティア：37 人

(5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ 480 人程度

(6) 支出額 90,313 円 (事業管理費含む)

※バザー事業収入：229,180 円 ※バザー売上 (カレンダー含む)・寄付・募金

8 開発教育、人材育成、若者支援

(1) 事業の概要

新潟県在住の人々に、地球規模の課題を発信し、啓発を行うことにより、新潟と世界とが繋がり、共生できる社会作りを目指すことを目的とした事業。より若者の人材育成に力をいれるべく、2022 年度も新潟の若者にアルバイトスタッフやインターンスタッフとしてより責任感を持って業務に従事してもらうプログラムを採用し、NGO の実務体験を通じて様々なスキルを身に付けてもらった。会計担当、会員管理担当、啓発・SDGs 担当、ベトナム事業担当と 4 つの担当役割を設け、具体的に何をした良いかについて常に意識し、行動してもらう環境を整え、働く場の提供、社会とつながる場の提供を実現できた。

(2) 実施日 通年

(3) 実施場所 NVC 事務所、オンライン他

(4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、ゴーティンタンハー、木村昌貴、藤川友里、池端文他 1 名

(5) 受益対象者の範囲及びその人数 5 名

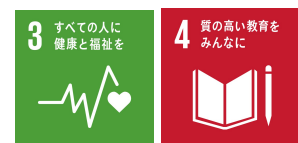
(6) 支出額 722,059 円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

(1) 事業の概要

新潟県内の大学や専門学校に在学し、新潟市に在住している「留学」の資格を持つ、一定以上の収入の無い私費留学生に対し、一人につき年間 5 千円ずつ国民健康保険料の助成を行う事業。1 年以上滞在する学生は公的健康保険に加入しなくてはならず、多くの場合が国民健康保険に加入することになるが、経済的な負担になっていることもある。そのため、経費の一部を助成することで安心して医療を受けてもらおうという趣旨。1995 年 (平成 7 年) 度から (公財) 新潟市国際交流協会様との協働事業として実施。受給した留学生より喜ばれている反面、協働事業としての NVC については知られていない。財源は設立した当時の基金の取り崩しと、団体や個人からの寄付にて不安定な状況になっていたが、今後、(公財) 新潟市国際交流協会様が財団の経費として計上を予定。

(2) 実施期間 通年 (保険料の助成金支払いは 2 月)



- (3) 実施場所 新潟市
- (4) 担当者及びスタッフの数 三上杏里、細谷唯一
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 200 件 100 万円
- (6) 支出額 115,462 円

10 その他の運営に関する事項

- (1) 機関紙発行「かけ橋」59号(2022年9月2日)60号(2023年2月8日)
- (2) 運営委員会 毎月第3土曜日にNVC事務所、Zoomを利用して計11回開催
- (3) 外部イベントへの出展
 - フリーマーケット出店 2022年7月16日 研修センター「点塾わわわ」
 - 販売会出店 2022年7月30日 海の家「トロピカルリゾートぼうわう」
 - 販売会出店 2022年8月19日 新潟ふるさと村
 - 三条マルシェ出店 2022年9月19日 図書館等複合施設「まちやま」
 - SDGs World in Niigata 出店 2022年7月30日 ピア万代イベントテラス
- (4) 出張講演、報告、ワークショップ等
 - ①新潟翠江高等学校「世界の文化」NVCとベトナム文化の紹介、ワークショップ
2022年7月1日 担当：三上、ゴ・ティン・タン・ハー
 - ②にいがた「なりわいの匠」研修会にてSDGs講座
2022年11月15日 担当：三上、木村
- (5) 事務局業務委託受け入れ
(特活)にいがたNGOネットワークの事務局業務を委託受け入れした。
- (6) 資金調達
マダグイ子どもセンター食料支援募金キャンペーンを開催(2022年9月～11月)
し、合計で464,040円の寄付を獲得することができた。
- (7) 2022年度 役員体制 (五十音順)

運営委員	上田 和孝、緒方 りな、鏡 千夏、金子洋二、北村 泰、櫛谷圭司、 小林伸子、佐々木寛、相馬 優花、高橋正樹、港美結、馬場拓也、 細谷唯一、大澤容佳、松山 千紘、三上杏里、山田 裕史、若月 章
監 事	阿部美恵子、藤井由美子
アドバイザー	西村智奈美、前野春樹、山田太郎

- (8) マスコミ掲載等
 - 2022年8月1日 新潟日報 25頁 海の家販売会告知
 - 2022年10月25日 新潟日報 26頁 バザー告知
- (9) その他
 - カレンダーの販売部数・・・JVC カレンダー：1,600円×40部
 - 募金箱設置協力・・・俺のどんこつラーメン伝丸、阿部美恵子氏自宅、
 - 加入している団体・・・日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟
NPO 協会、にいがたNGO ネットワーク、新潟ベトナム協会
 - 助成金その他・・・
 - 公益信託 今井記念海外協力基金(ベトナム孤児障がい児支援事業)より100万円、
(公財)新潟県国際交流協会より「新潟・国際協力ふれあい基金」(ベトナムシェ
ルターこども支援事業)として71万円、積水ハウスマッチングプログラムの会よ
り30万円、株式会社シーキューブからはマダグイ子どもセンター食料支援として
30万円の寄付をいただいた。

収入

項 目	2022予算額	2022決算額	差	備考
会費	610,000	643,000	33,000	
会費(正会員)	500,000	526,000	26,000	
会費(賛助)	110,000	117,000	7,000	
バザー売り上げ	200,000	144,052	△ 55,948	
事業(その他の活動)	414,000	179,186	△ 234,814	
NVCオリジナルグッズ売上	150,000	59,118	△ 90,882	
イベント売り上げ	0	67,510	67,510	
カレンダー売り上げ	64,000	48,000	△ 16,000	
セミナーなど講師謝礼	100,000	4,558	△ 95,442	
スタディツアー事業収益	100,000	0	△ 100,000	
寄付金	1,000,000	521,540	△ 478,460	
奨学金指定寄付	2,200,000	1,127,000	△ 1,073,000	
募金	100,000	15,555	△ 84,445	
助成金	2,000,000	2,010,000	10,000	
雑収入、委託事業収入	50,000	57,516	7,516	
利息諸収入	50	24	△ 26	
			0	
計	6,574,050	4,697,873	△ 1,876,177	

支出(事業費)

項 目	2022予算額	2022決算額	差	備考
期首棚卸高	44,200	44,200	0	
仕入高	180,000	126,435	△ 53,565	
期末棚卸高	20,000	50,000	30,000	在庫
自主事業(海外)	4,021,220	4,595,696	574,476	
奨学金支援事業	1,203,000	1,973,077	770,077	
ベトナム障がい児支援事業	1,501,220	1,530,952	29,732	
シェルター子ども支援事業	1,111,000	1,008,185	△ 102,815	
小学校支援事業	123,000	42,992	△ 80,008	
スタディツアー事業	83,000	40,490	△ 42,510	
自主事業(国内)	958,000	812,372	△ 145,628	
バザー	82,000	90,313	8,313	
開発教育・人材育成・若者支援	876,000	722,059	△ 153,941	カレンダー含む
他との協働事業	228,000	229,254	1,254	
ラオス(JVC)	113,000	113,792	792	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	115,000	115,462	462	新潟市国際交流協会へ
計	5,411,420	5,757,957	346,537	

支出(事務局費)

項 目	2022予算額	2022決算額	差	備考
人件費	400,000	321,000	300,000	
講師謝礼	0	0	148,000	
印刷費	50,000	65,560	90,000	
広告宣伝費	0	0	0	
通信費	100,000	114,114	15,000	
会場費	0	0	0	
委託費	0	0	5,000	
消耗品費	12,000	43,762	5,000	
支払い保険料	14,000	16,154	4,000	
交際費	0	18,000	40,000	
旅費交通費	30,000	58,800	0	
送金手数料	3,000	4,235	90,000	
家賃	148,000	148,000	50,000	
光熱水費	40,000	41,329	30,000	
その他雑費	20,000	23,095	80,000	
事務用品費	100,000	104,798	50,000	
他団体登録料	46,000	40,000	0	
法人税・住民税及び事業税	70,000	86,600	10,000	
減価償却費	6,000	1		
寄付金	50,000	0	200,000	
租税公課	0	1,050		
計	1,089,000	1,086,498	1,117,000	

支出(計)

項 目	2022予算額	2022決算額	差	備考
事業費	5,411,420	5,757,957	346,537	
事務局費	1,089,000	1,086,498	1,117,000	
計	6,500,420	6,844,455	1,463,537	

2022年度

一般会計活動計算書

(費用科目別フォーム)

期間	令和4年4月1日	～	令和5年3月31日	迄
項目	金額			
	特定非営利に関わる活動	その他の活動	合計	
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取年会費	526,000			
賛助会員受取会費	117,000			
受取入会金	0			
受取会費計	643,000	0		643,000
2 受取寄付金				
一般寄付	521,540			
奨学金事業指定寄付	1,127,000			
募金	15,555			
受取寄付金計	1,664,095	0		1,664,095
3 受取助成金等				
受取補助金	0			
受取民間助成金	2,010,000			
受取助成金等計	2,010,000	0		2,010,000
4 事業収益				
売上高	0			
役務収益	0			
知る講座参加費		0		
バザー&フェスタ	144,052			
NVCオリジナルグッズ売り上げ		59,118		
イベント売り上げ		67,510		
カレンダー売り上げ		48,000		
スタディツアー事業収益		0		
セミナー等講師謝金		4,558		
事業収益計	144,052	179,186		323,238
5 その他収益				
受取利息	24			
委託事業収入	30,000			
雑収入	27,516			
受取報奨金	0			
その他収益計	57,540	0		57,540
経常収益合計(A)				4,697,873
II 経常費用				
1 売上原価				
期首棚卸高		44,200		
仕入高		126,435		
小計		170,635		
期末棚卸高		50,000		
当期売上原価	0	120,635		120,635
2 事業費				
(1) 人件費				
人件費	725,120			
人件費計	725,120	0		725,120
(2) その他経費				
仕入もしくは事業実施費	4,012,760			
講師謝礼	0			
会場費	20,460			
委託費	5,500			
支払い保険料	9,800			
諸会費	0			
消耗品費	6,348			
旅費交通費	318,647			
支払利息	0			
リース料	0			
交際費	42,334			
家賃	296,000			
通信費	145,007			
光熱水費	34,490			
印刷費	4,110			
広告宣伝料	7,440			
送金手数料	9,306			
その他雑費	0			
その他経費計	4,912,202	0		4,912,202
事業費計				5,757,957
3 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0			
人件費	321,000			
人件費計	321,000	0		321,000
(2) その他経費				
家賃	148,000			
旅費交通費	58,800			
減価償却費	1			
交際費	18,000			
会議費	0			
支払い保険料	16,154			
修繕費	0			
講師謝礼	0			
消耗品費	43,762			
事務用品費	104,798			
送金手数料	4,235			
他団体登録料	40,000			
新聞図書費	0			
教育費	0			
通信費	114,114			
寄付金	0			
光熱水費	41,329			
広告宣伝料	0			
印刷費	65,560			
会場費	0			
法人税、住民税及び事業税	86,600			
租税公課	1,050			
その他雑費	23,095			
その他経費計	765,498	0		765,498
管理費計				1,086,498
経常費用合計(B)				6,844,455
当期経常増減額(C)=(A)-(B)				-2,146,582
III 経常外収益				
雑益	0			
前期損益修正益	0			
経常外収益計(D)	0	0		0
III 経常外費用				
雑損失	51,904			
経常外費用計(E)	51,904	0		51,904
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)				-51,904
当期正味財産増減額(G)=(C)+(F)				-2,198,486
前期繰越正味財産(H)				4,212,948
次期繰越正味財産(I)=(G)+(H)				2,014,462

令和4年度 会計貸借対照表
NPO法人新潟国際ボランティアセンター

令和5年3月31日 現在

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
101 現金	10,000		
103 新潟県信用組合	35,621		
104 ゆうちょ銀行	1,495,072		
105 振替口座	211,577		
106 第四銀行	450,692		
107 新潟県労働金庫	588,500		
121 商品	50,000		
116 未収入金	0		
流動資産合計		2,841,462	
2 固定資産			
201 建物	0		
206 工具器具備品	0		
255 敷金	37,000		
固定資産合計		37,000	
資産合計			2,878,462
II 負債の部			
1 流動負債			
303 短期借入金	0		
305 未払法人税等	0		
307 前受金	864,000		
310 仮受金	0		
流動負債合計		864,000	
2 固定負債			
351 長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			864,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,212,948	
当期正味財産増加額(減少額)		-2,198,486	
正味財産合計			2,014,462
負債及び正味財産合計			2,878,462

令和4年度 財産目録
NPO法人新潟国際ボランティアセンター

令和5年3月31日 現在

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
101 現金	10,000		
103 新潟県信用組合	35,621		
104 ゆうちょ銀行	1,495,072		
105 振替口座	211,577		
106 第四銀行	450,692		
107 新潟県労働金庫	588,500		
121 商品	50,000		
116 未収入金	0		
流動資産合計		2,841,462	
2 固定資産			
205 車両運搬具	0		
206 工具器具備品	0		
255 敷金	37,000		
固定資産合計		37,000	
資産合計			2,878,462
II 負債の部			
1 流動負債			
303 短期借入金	0		
305 未払法人税等	0		
307 前受金	864,000		
310 仮受金	0		
流動負債合計		864,000	
2 固定負債			
351 長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			864,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,212,948	
当期正味財産増加額(減少額)		-2,198,486	
正味財産合計			2,014,462

会計監査報告

2022 年度(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)の収支決算について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2023 年 4 月 23 日

監査委員

阿部 美恵子 

監査委員

藤井 由美子 

【阿部監事及び藤井監事からのアドバイス（要旨）】

【全体】

ベトナムの困難な状況にあるこどもたちへの支援は大切であるが、今日本も多くの課題を抱えている。今後、NVC がどのようにあるべきなのか、をぜひ模索していただいたい。

【資金調達】

資金調達に向けて、ぜひ今後も積極的に取り組んで欲しい。

【ベトナム現地事業】

2014 年に建設したビンカンドン村の小学校が取り壊されたが、それは地域の教育拠点になり、その為に新校舎が必要になったから。呼び水としての行動をしたことは評価して欲しい。

【事務局】

会計が大変明朗で良い。引き続きこの体制を維持して欲しい。

第3号議案

2023年度事業計画（案）

2022年度は県内でもお祭りなどのイベントが再開され、少しずつにぎわいを取り戻すような1年だったと感じています。NVCの活動においても、7月には越前浜にある海の家でチュニックを販売したり、9月には三条マルシェに初めて出店するなど、県内各地でフェアトレード商品を販売しながら私たちの活動を知ってもらう機会をもつことができました。

NVCの支援地ベトナムでも、コロナ禍で停止していたキムチシェルターの裁縫教室が再開されるなど、明るいニュースが入ってきました。一方で、生活の基本となる食料支援を強く求める声もまだ届いています。マダグイ子どもセンターでは、線香やビーズの収入が途絶え、食糧不足の危機がありました。NVCでは、緊急寄付募集を行い、32万円を送金することができました。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

そして、2月には4年ぶりに現地訪問を実現することができました。マダグイ子どもセンターやキムチシェルターを訪れ、ハウスマザーから施設の近況をきき、子どもたちと交流することができました。2月25日には奨学金授与式に参加して42名の学生に奨学金を授与し、さらに奨学金サポーターの方と奨学生が直接お話することもできました。久しぶりの現地訪問は充実していて、実際にみてみないとわからない現地の様子や支援の必要性を感じ、代表と副代表はやる気に満ちて帰ってきました！

さて、2023年度が始まりました。5月には新型コロナウイルス感染症は5類感染症となり、より一層経済活動が活性化されることが予想されます。様々な制限がなくなり、再び海外に視線を向ける人も多くなるかもしれません。そんなときはNVCのチャンスです！会員拡大や資金調達、各事業の充実に向けて2023年こそ一丸となって取り組んでいきたいと思っています。ぜひ皆様の声をおきかせください。これからもNVCの応援をよろしくお願いいたします！

事務局長 港 美結

【各事業の実施計画】

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

ラオスセコン県農村部において生活の基盤である共有資源が守られ、人々の持続的な暮らしが営まれることを目的とする。特に、対象地域において、共有資源が村人によって持続的な方法で管理、利用され、人々の暮らしが守られセコン県農村部住民による共有資源の管理・利用支援プロジェクトを実施する。

※事業実施主体の日本国際ボランティアセンター（JVC）の事業に NVC が一部資金を提供している。

(2) 実施期間 通年

(3) 実施場所 ラオス人民民主共和国セコン県ラマーム郡およびタテン郡 10 村

(4) 担当者 JVC ラオス事務所 山室駐在員／東京事務所 岩田氏

(5) 受益者の範囲 約 1,600 世帯、およそ 9,500 人

(6) 予算 113,000 円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

奨学金事業が継続されていることは素晴らしいことだが、今後に向けての課題をクリアにし、解決していくことに努める。

第一に、奨学金辞退者への対応である。奨学金を辞退することになった学生に、サポーターへのレターなどを作成してもらうよう、伝達していく。

第二の課題として、サポーターの確保である。2022 年度は、サポーター募集人数が目標の 12 人に満たなかった。今年度はより広報に力を入れて取り組んでいく。

(2) 実施期間 通年

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数

NVC 担当者（2 人）：大澤容佳・山田裕史、鏡千夏現地スタッフ（1 人）：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲および人数：ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 50 人

(6) 支出予算額 1,233,000 円（事業管理費含む）

【表】2023 年度の支援人数（予定）

6 年生	5 年生	4 年生	3 年生	2 年生	1 年生	合計
1 人	1 人	12 人	6 人	12 人	12 人	44 人

3 ベトナム孤児・障がい児支援事業

(1) 事業の概要

2 月に現地を訪問し、教育及び食事支援継続の必要性を確認した。2023 年度も子どもたちへの教育支援を行うことにより、安定した教育環境を保持し、子ども達の学力向上を目指していく。食糧支援についても継続していく予定。また引き続き資金調達に向けて、情報を集め活動していくこととする。

今年度は 9 月にスタディツアー再開の予定なので、現地を訪問し、施設の状況確認と今後の支援について施設と協議を行い、子ども達と交流を行いたい。

- (2) 実施期間 通年
- (3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子どもセンター
- (4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh
- (5) 受益対象者の範囲及び人数
マダグイ子どもセンターで生活する子ども・青年
- (6) 予算額 1,028,000 円（事業管理費含む）

4 ベトナム小学校支援事業

- (1) 事業の概要
ベンチェ省ビンカンドン村小学校は取り壊しとなり、近くの小学校(Minh Duc Primary School)と合併し新校舎となった。これまで交流を行ってきたビンカンドン村小学校の校長先生(Mr.Vu)も移動してしまったことから、新小学校の情報が少ない状況のままである。今年度は9月にスタディツアー再開の予定のため、現地で情報収集を行いたい。
- (2) 実施日または期間 通年
- (3) 実施場所
ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ビンカンドン村小学校
- (4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数 250 名
- (6) 予算額 163,000 円（事業管理費含む）

5 シェルター子ども支援事業

- (1) 事業の概要
昨年度までの経験を活かし、キムチシェルターにおいて、日本で販売していくことを目指して製品開発及び生産を行っていく。作品作りに力を注ぎ、より新潟及び日本で販売できるモノ作りを始動し、販売に力を注ぎ、新潟県内の様々なイベント会場やインターネットでの販売を開始していくこととする。また、製品もアオザイチュニックドレスだけではなく、シャツやパンツ（ズボン）など多様な商品を展開していくこととする。
また、教育棟における教室増設に伴い、不足している必要備品を支援する予定。2月に調査に行った時点では、IT を学ぶ際のモニター増設を依頼された為、それに応じる予定。（公財）新潟県国際交流協会より、84 万円の助成を受けることができた為、縫製教室と教育支援の2本柱で子どもたちを支援していく。
- (2) 実施日／期間 通年
- (3) 実施場所
縫製教室：ロンアン省キムチシェルター：スカートやアオザイ風チュニック、販売はバザー会場、イベント会場、インターネットでの通信販売
教育支援：ロンアン省キムチシェルター併設の学校施設にて、パソコンモニターなどの IT 教育環境支援
- (4) 担当者およびスタッフ 三上杏里、小林伸子
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 縫製教室：シェルター利用児 100 名の内 25 名前後
- (6) 支出予算額 900,000 円(事業管理費含む)

6 スタディーツアー事業

(1) 事業名 ベトナムスタディーツアー事業

(2) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2023 年度は、3 年ぶりのツアー開催となる。

(3) 実施日 2023 年 9 月 18 日～14 日

(4) 実施場所 ベトナム社会主義国ホーチミン市、ラムドン省マダグイ、ロンアン省、ベンチェ省

(5) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、小林伸子

(6) 受益対象者の範囲及びその人数 一般応募 10 名

(7) 支出額 303,000 円

7 チャリティバザー事業

(1) 事業の概要

資金調達、NVC 広報のため NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタを年に一度開催する。チャリティバザーによる物品販売に加え、天然石アクセサリやシェルターの子どもたちが製作した洋服等の販売に力を入れ、NVC の事業をアピールする機会とする。今年度も感染対策をしっかりと行いながら、バザーを開催したいと考えている。

(2) 実施日／期間 2023 年 11 月 5 日（日） 予定

(3) 実施場所 ピア Bandai ピアテラス 予定

(4) 担当者およびスタッフの数

担当者：港美結、木村昌貴、池端文、三上杏里他、ボランティアスタッフを募集する

(5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ 1,000 人

(6) 支出予算額 82,000 円

8 開発教育・人材育成・若者支援事業

(1) 事業の概要

今までの実績を活かして確立した NVC のグローバル人材育成プログラムメソッドをより大きく展開していく。2021 年度の経験を活かし、新型コロナウイルスの影響を受けて孤立しがちな若者もサポートすべく、そして若い人たちの力を発揮してもらえるような事業体制を整えていく。通常業務としては、会計担当、会員管理担当、啓発・SDGs 担当、ベトナム事業担当の 4 人スタッフを採用し、NGO の実務経験を積んでもらい、自身の成長につなげてもらう予定。

今年度は、啓発活動として G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議をきっかけにお金について考える円卓会議を開催した。新潟市からの 16 万円補助を活かして開催した。（5 月 8 日）

(2) 実施日 通年

- (3) 実施場所 NVC 事務所、各イベント・講座会場（オンライン含む）、他
- (4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、ゴードン・タンハー、木村昌貴、藤川友里、池端文
- (5) 受益対象者の範囲及びその人数 100 名（講座参加者等）
- (6) 支出額 1,101,000 円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

(1) 事業の概要

(公財)新潟市国際交流協会様より事業の財源について支出が予定されていることは事業運営にとって大きな支えであり、今後も安定した事業の推進が期待できると思われる。助成金支出をしている NVC としては状況を見守りながらこの制度の継続を推進していきたい。合わせて NVC の活動を加入者等へ周知できるよう工夫を進める。

- (2) 実施期間 通年（保険料の助成金支払いは協会との協議後実施）
- (3) 実施場所 新潟市
- (4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、細谷唯一
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 助成見込み件数 200 件
- (6) 予算額 115,000 円

11 その他運営に関する事項

- (1) 「かけ橋」発行
- (2) 運営委員会の開催 原則として毎月第3土曜日午前10時30分より実施する。
- (3) 外部イベントへの出展
新型コロナウイルスの影響を考慮し、参加可能なイベントに出席する。
- (4) 現地調査 支援先の現況把握としてベトナムでの現地調査を実施する。
- (5) 資金調達
より多くの人気が気軽に寄付できるように寄付募集キャンペーンや会員を増やすべく新規会員募集キャンペーンなどを行う。
- (6) その他
加入予定団体 日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、にいがたNGOネットワーク、新潟ベトナム協会

収入

項 目	2023予算額	2022決算額	差	備考
会費	720,000	667,000	53,000	
会費(正会員)	600,000	550,000	50,000	
会費(賛助)	120,000	117,000	3,000	
バザー売り上げ	150,000	144,052	5,948	
事業(その他の活動)	670,000	179,186	490,814	
NVCオリジナルグッズ売上	200,000	59,118	140,882	
イベント売り上げ	70,000	67,510	2,490	
カレンダー売り上げ	0	48,000	△ 48,000	
セミナーなど講師謝礼	100,000	4,558	95,442	
スタディツアー事業収益	300,000	0	300,000	
寄付金	1,000,000	521,540	478,460	
奨学金指定寄付	2,000,000	1,127,000	873,000	
募金	100,000	15,555	84,445	
助成金	2,000,000	2,850,000	△ 850,000	84万は確定
雑収入、委託事業収入	50,000	57,516	△ 7,516	
利息諸収入	50	24	26	
			0	
計	6,690,050	5,561,873	1,128,177	

支出(事業費)

項 目	2023予算額	2022決算額	差	備考
期首棚卸高	50,000	44,200	△ 5,800	
仕入高	180,000	126,435	△ 53,565	
期末棚卸高	20,000	50,000	30,000	在庫
自主事業(海外)	3,627,000	4,595,696	968,696	
奨学金支援事業	1,233,000	1,973,077	740,077	
孤児・障がい児支援事業	1,028,000	1,530,952	502,952	
シェルター子ども支援事業	900,000	1,008,185	108,185	ふれあい基金84万円
小学校建設事業	163,000	42,992	△ 120,008	
スタディツアー事業	303,000	40,490	△ 262,510	
自主事業(国内)	1,183,000	812,372	△ 370,628	
バザー	82,000	90,313	8,313	
開発教育・人材育成・若者支援	1,101,000	722,059	△ 378,941	カレンダー無し
他との協働事業	228,000	229,254	1,254	
ラオス(JVC)	113,000	113,792	792	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	115,000	115,462	462	新潟市国際交流協会へ
計	5,248,000	5,757,957	509,957	

支出(事務局費)

項 目	2023予算額	2022決算額	差	備考
人件費	400,000	321,000	△ 79,000	
講師謝礼	0	0	0	
印刷費	50,000	65,560	15,560	
広告宣伝費	0	0	0	
通信費	100,000	114,114	14,114	
会場費	0	0	0	
委託費	0	0	0	
消耗品費	12,000	43,762	31,762	
支払い保険料	14,000	16,154	2,154	
交際費	0	18,000	18,000	
旅費交通費	30,000	58,800	28,800	
送金手数料	3,000	4,235	1,235	
家賃	148,000	148,000	0	
光熱水費	40,000	41,329	1,329	
その他雑費	20,000	23,095	3,095	
事務用品費	100,000	104,798	4,798	
他団体登録料	46,000	40,000	△ 6,000	
法人税・住民税及び事業税	70,000	86,600	16,600	
減価償却費	6,000	1	△ 5,999	
寄付金	50,000	0	△ 50,000	
租税公課	0	1,050	1,050	
計	1,089,000	1,086,498	△ 2,502	

支出(計)

項 目	2023予算額	2022決算額	差	備考
事業費	5,248,000	5,757,957	509,957	
事務局費	1,089,000	1,086,498	△ 2,502	
計	6,337,000	6,844,455	507,455	

期間	令和3年4月1日	～	令和4年3月31日	迄
項目	金額			
	特定非常利に関わる活動	その他の活動	合計	
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取年会費	600,000			
賛助会員受取会費	120,000			
受取入会金	0			
受取会費計	720,000	0		
2 受取寄付金			720,000	
一般寄付	1,000,000			
奨学金事業指定寄付	2,000,000			
募金	100,000			
受取寄付金計	3,100,000	0		
3 受取助成金等			3,100,000	
受取補助金				
受取民間助成金	2,000,000			
受取助成金等計	2,000,000	0		
4 事業収益			2,000,000	
バザー&フェスタ	150,000			
NVCオリジナルグッズ売り上げ		200,000		
イベント売り上げ		70,000		
カレンダー売り上げ		0		
スタディツアー事業収益		300,000		
セミナー等講師謝金		100,000		
事業収益計	150,000	670,000		
5 その他収益			820,000	
受取利息	50			
委託事業収入				
雑収入	50,000			
受取報奨金				
その他収益計	50,050	0		
経常収益合計(A)			50,050	6,690,050
II 経常費用				
1 売上原価				
期首棚卸高		28,500		
仕入高		160,000		
小計		188,500		
期末棚卸高		20,000		
当期売上原価	0	168,500		
2 事業費			168,500	
(1) 人件費				
人件費	900,000			
人件費計	900,000	0		
(2) その他経費			900,000	
仕入もしくは事業実施費	2,820,000			
講師謝礼				
会場費	40,000			
委託費	25,000			
支払い保険料	1,000			
消耗品費	7,000			
旅費交通費	500,000			
交際費	16,000			
家賃	296,000			
通信費	94,000			
光熱水費	35,000			
印刷費	19,000			
広告宣伝料	5,000			
送金手数料	15,000			
その他雑費	5,000			
その他経費計	3,878,000	0		
事業費計			3,878,000	
3 管理費			4,946,500	
(1) 人件費				
人件費	400,000			
人件費計	400,000	0		
(2) その他経費			400,000	
家賃	148,000			
旅費交通費	30,000			
減価償却費	6,000			
交際費	0			
会議費				
支払い保険料	14,000			
講師謝礼				
消耗品費	12,000			
事務用品費	100,000			
送金手数料	3,000			
他団体登録料	46,000			
教育費				
通信費	100,000			
寄付金	50,000			
光熱水費	40,000			
広告宣伝料	0			
印刷費	50,000			
会場費	0			
法人税、住民税及び事業税	70,000			
その他雑費	20,000			
その他経費計	689,000	0		
管理費計			689,000	
経常費用合計(B)			1,089,000	6,035,500
当期経常増減額(C)=(A)-(B)				654,550
III 経常外収益				
雑益	0			
前期損益修正益	0			
経常外収益計(D)	0	0		
IV 経常外費用			0	
雑損失	0			
経常外費用計(E)	0	0		
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)			0	0
当期正味財産増減額(G)=(C)+(F)				654,550
前期繰越正味財産(H)				2,014,462
次期繰越正味財産(I)=(G)+(H)				2,669,012

第5号議案

役員について

2022 年度に選任された役員の任期が2年間であるため、今年度は下記役員が継続して任に当たります。（五十音順）

運営委員	上田 和孝、大澤容佳、緒方りな、鏡千夏、金子洋二、北村 泰、櫛谷圭司、小林伸子、佐々木寛、相馬優花、高橋正樹、中野伊吹、港美結、馬場拓也、細谷唯一、松山千紘、三上杏里、山田 裕史、若月 章
監 事	阿部美恵子、藤井由美子
アドバイザー	西村智奈美、前野春樹、山田太郎